

令和8年度図書館司書専門講座実施要項

1 趣 旨

司書として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県・指定都市等での指導的立場になりうる司書及び図書館経営の中核を担うリーダーとしての力量を高める。

令和8年度テーマ：

「これからの図書館の在り方ー地域を支える社会資本としての役割を考えるー」

人生100年時代、Society5.0の到来、DXの急速な進展など、社会が急速な変化を続けており、VUCAの時代とも呼ばれる予測困難な時代を迎えている。こうした中、第4期教育振興基本計画では、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展に向けて、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が総括的な基本方針として掲げられた。この実現に向け、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係づくりの土壌を耕しておくことで、持続的な地域コミュニティの基盤を形成することが求められている。

また、第12期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理では、全世代の一人ひとりの主体的な学びを尊重し、個人の幸せと他者との関係性の構築といったウェルビーイングを目指す上で、障害者や外国人などの社会的包摂の観点も含めた社会教育の推進が不可欠であるとされている。

さらに、図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議の報告書「図書館が拓く未来の学びと地域社会」では、図書館に今後求められる機能と役割として、「読む」「集う」「学ぶ」の充実と掛け合わせによる「新たな地域共創」が示された。

このような背景を踏まえ、地域における社会教育の拠点である図書館には、地域を支える社会資本として、図書等の資料の提供、学習機会の開催と奨励、地域の課題解決に資するレファレンス機能の充実などといった図書館サービスを通じて、地域コミュニティづくりや社会的包摂の実現等に寄与する役割が期待されている。

そこで、本講座は、図書館サービスの中核となる司書が、上記に関する最新の知識・技術を学ぶ機会とする。特に以下のア～キの知識・技術の習得及び意識の向上を目指す。

2 主 催

文部科学省

国立教育政策研究所（社会教育実践研究センター）

3 期 間

令和8年6月11日（木）～6月24日（水）（10日間）

原則として、全日程・全講義に出席していただく必要があります。業務や私事都合での欠席はできません。業務や生活等の影響を受けずに受講に専念できるよう事前に調整してください。

4 対 象

図書館司書の資格を有している者で、都道府県・指定都市教育委員会教育長、都道府県知事・指定都市市長が推薦する次の者

(1) 図書館法第2条に規定する図書館に勤務する司書で、勤務経験が概ね7年以上で指導的立場にある者

(2) 上記(1)と同等の職務を行うと主催者が認めた者

※対象の要件を満たさない場合、受講決定ができない可能性がある

5 定 員

60 人

6 受講方法等

(1) 研修の実施方法

6月11日(木)から19日(金) : Web会議システム (Zoom Workplace (以下「Zoom」という。)) を使用したライブ配信による受講

6月22日(月)から24日(水) : 会場に集合して受講

【会場】 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-43
TEL 03-3823-8681

(2) 研修の受講方法

ライブ配信では「Zoom」を使用して受講していただきます。

必ず使用するパソコンにインストールしてください。 (ブラウザ版では不具合が生じる場合があります。) また常に最新版にバージョンアップして受講してください。

事前の接続テストは実施しませんので、**事前に操作方法や動作確認をご自身で行ってから受講してください。**

なお当日お問い合わせいただいても、個別の対応が出来ない場合がございます。

Zoomのダウンロードはこちらから (<https://Zoom.us/download>)

Zoomでの主な操作

- ・ Zoomへの入退室
- ・ 表示氏名の変更 (指示のとおり名前の変更をお願いします)
- ・ ビデオ・マイクのオンオフの切り替え
- ・ カメラの位置調整 (出席確認のため顔がわかるよう調整してください)
- ・ マイク・スピーカーの調整
- ・ 画面の共有
- ・ ブレイクアウトルームへの移動

(3) オンライン受講するための要件等

受講者がオンラインで受講するために必要な要件等は次のとおりです。

ア. ハードウェア

項目	内容（要件・用途等）
パソコン ・OS：Windows 11 ・CPU：Quad-core 2.5 GHz 以上 ・RAM（メモリ）：4 GB 以上 ・解像度：1024 x 768 pixel 以上 ・通信速度 ブロードバンド環境推奨 ※下り 10 Mbps 以上を推奨いたします。	講義資料（大容量データ）の受渡しのため、クラウドストレージサービス（Box）を使用。 (研修前) ・講義資料のダウンロードのため、大容量の講義資料（50MB以上）をダウンロード・保存等が十分に行える空き容量があること。 ・Boxにアクセスできること。Boxにアクセスできるか事前に確認をお願いいたします。 (Box URL（テスト用フォルダ）： https://mext.box.com/s/eumkya3vv6laqik7ftwlc2bmmmqbrto2) (研修期間中) ・オンライン講義に参加（視聴）するにあたり、インターネットに常時継続・安定して接続できること。 例) Zoomや動画の映像及び音声途切れることなく出力されること。
Webカメラ・マイク ※ヘッドセットの使用を推奨	オンライン講義中の質疑応答や出欠確認等に必要。

イ. ソフトウェア

オンライン講義や講義資料閲覧等に必要な次のアプリケーションをインストールしていること

項目	内容（要件・用途等）
Zoom Workplace (Zoomアプリ)	双方向性のある講義を行うために使用。 ※「6 受講方法等」の「(2)」の要件をみたすことが条件です。
Microsoft Office (Microsoft 365)	オンライン講義や講義資料閲覧等に必要。 Word、Excel、PowerPointを使用する場合があります。
Adobe Acrobat Reader	

ウ. インターネット環境

インターネットに常時継続・安定して接続できるブロードバンド環境が必要です。

(要件)

- ・有線またはWi-Fi等インターネットに接続
- ・「ア. ハードウェア」に記載の要件参照。

エ. メール

研修に関する連絡や講義資料のダウンロード案内などをメールにて送付します。

「ア. ハードウェア」に記載した要件を満たすパソコンで常時確認可能なメールアドレスを受講申込書（別紙様式1）の「⑤（1）メールアドレス」の欄に御記入ください。

社会教育実践研究センターからのお知らせは一斉送信メールにて行います。

「@mext.go.jp」からのメールが受信できるよう、ドメイン指定を行ってください。特に、Gmail等フリーアドレスをお使いの方は、一斉送信メールを受信できない等の場合があります。必ず各メールシステムの設定を確認し、受信ができるよう設定をお願いします。

勤務先の代表アドレスや共用アドレスはなく、受講者本人が常時確認できる個人のメールアドレスを記入してください。

研修会資料はメール本文に記載されているURLにアクセスし、各自ダウンロードを行ってください。

（4）受講環境その他

ア. 他業務や生活等の影響を受けず受講に専念できる適切な場所、及びインターネット通信環境が良好な場所等を確保すること。

イ. パソコン又はインターネット環境の不具合があった際に備え、直ちに電話連絡が可能となるようにしておくこと。

7 主要研修事項、主な内容、研修方法及び講師

別表1のとおり

8 日程

別表2のとおり

9 受講者の推薦手続

都道府県・指定都市教育委員会教育長、都道府県知事・指定都市市長は、受講希望者の所属する関係機関から受講申込みを受け、適任者を選考の上、令和8年5月13日（水）12時までに、受講申込書（別紙様式1）・推薦書（別紙様式2）を国立教育政策研究所社会教育実践研究センター宛てにメールで送付してください。

※受講者から提出された受講申込書（別紙様式1）のデータ（Excel）は、データ処理の都合上、書式設定の変更やシートを分割することなく、1人1ファイルでそのまま提出してください。（推薦書（別紙様式2）もそのままのデータで提出してください。）

<申込様式の提出先>

宛先：kenshu7@mext.go.jp（昨年度より@マーク以降が変更になりました。）

件名：【推薦機関名】令和8年度図書館司書専門講座受講申込書について

10 受講者の決定

文部科学大臣は、都道府県・指定都市教育委員会教育長、都道府県知事・指定都市市長の推薦に基づき受講者を決定し、当該教育委員会教育長・知事・市長に通知しますので、当該教育委員会教育長・知事・市長は本人に通知をお願いします。

11 修了証書

当該専門講座の総研修時間数の5分の4以上を受講し、研修の成果等についてレポートを提出した者に文部科学省より修了証書を授与します。ライブ配信部分のみの受講では、修了とは認められません。集合研修部分の受講も必須となります。※レポート様式は、受講決定後に御案内します。

12 受講に要する経費

受講に要するパソコンやインターネット接続に関する費用及び講義資料の印刷代、旅費等は、受講者側の負担とします。その他の負担金はありません。

なお、当センターには宿泊施設はありませんので、宿泊予定の方は、近隣のホテル等を各自手配してくださるようお願いします。

13 事前課題について

講師によっては講義の事前課題に取り組んでいただく場合があります。その場合、受講申込書に記載のメールアドレスに詳細をお送りしますので、常時確認可能なメールアドレスの登録をお願いします。

14 持参品

当センターの研修用パソコン（インターネット接続有）の利用ができますが、台数に限りがあるため、各自のパソコンの持参も可能です。ただし、当センターでは持参されたパソコンにインターネットを接続することはできませんので御了承ください。

15 開館時間

当センターの入館は、9時00分以降とします。

16 健康管理について

受講申込みの際は、受講申込書（別紙様式1）の「⑫ 健康状況」の欄に該当する事項をもれなく御記入ください。また、受講申込み後に生じた疾病等についても当センターに御連絡いただくようお願いします。

17 非常変災等について

非常変災等の発生によって、研修実施の困難が想定される際は、文部科学省と当センターで協議の上、対応について決定し受講者等関係者に連絡します。

18 その他

- (1) 研修期間中は、講義前後や昼休み等に、研修に関する連絡事項をお知らせすることがありますので、あらかじめ御承知おきください。
- (2) 当センター内は禁煙です。
- (3) 当センターにお越しの際は、公共交通機関を利用してください。
- (4) 研修期間中の万が一の事故やけがに備えて、傷害保険等に参加するなど、各自の責任で万全を期して参加していただきますようお願いいたします。
- (5) 本講座についての問合せは、当センター普及・調査係（03-3823-8681）までお願いいたします。